

令和元年度 第1回学校協議会 会議録

1 日 時 令和元年7月17日(水) 18時～

2 場 所 産業高校会議室

3 出席者

(1) 学校協議会委員(50音順 敬称略)

産業高等学校元PTA会長 池内 美智子

産業高等学校同窓会副会長 北野 好美

産業高等学校PTA会長 澤 薫司

JFE継手株式会社 信貴 政則

岸和田市立中学校校長会会長 高橋 一禎

(2) 学校

校長 楠戸 啓之

全日制教頭(司会) 大西 敦子

定時制教頭 榎本 正広

全日制教務部長(首席) 齋藤 良房

全日制 商品開発クラブ顧問 稲田 健

4 次第

(1) 校長挨拶

(2) 令和元年度協議会委員紹介及び会長選出

会長に信貴委員を選出

(3) 会長挨拶

(4) 自己診断における令和元年度目標設定について

○齋藤教務部長

○榎本教頭

(目標設定は、全日制・定時制別でホームページの学校教育自己診断に掲載しています。)

(委員) 人権教育の内容はどのようなものか。

(事務局) 自分を大事にする、他人を大事にする、そして周りの人を大事にすることを学んでいる。定時制の生徒は、まずコミュニケーションスキルを身につけることから始めている。全日制については、LGBTについての映画鑑賞を行い、意見徴収、個別相談、個別指導を行った。

(委員) LGBTについては重要な問題で、企業でも取り上げている。

(委員) 全日制の結果の分析はどう考えているか。

(事務局) 生徒指導を理解してもらうのは非常に難しい。

(委員) 生徒指導は個々の基準があると思うので難しい。

(委員) 高校の基準としては高いと思うが、「学校行事について」が下がっているのが気になる。PT

Aも頑張りたい。

(委員) このアンケートは全生徒を対象としているのか。また、どのように情報公開しているのか。

(事務局) 定時制は80名前後、全日制も欠席者以外は全員に答えている。アンケート結果は学校HPに掲載している。教室にも掲示している。

(委員) これだけ高い数値を保っているのは素晴らしい。

(5) 本校全日制「商品開発クラブ」の活動報告について(全日制)

●「商品開発クラブ」活動紹介(稲田 商品開発クラブ顧問)

平成27年度全国商業教育指導者研究会において、魅力ある「商業教育」について議論を深める機会があった。現在の商業科教育では、資格取得への取組みに偏っており、本来の商業の魅力である実践教育の場が少ないと感じていた。

そこで、実践教育を行う場として、「商品開発クラブ」を立ち上げ、マーケティング活動を中心に活動してきた。

研究発表大会では、大阪府予選・近畿地区大会で2年連続最優秀賞を受賞することができた。

○質疑応答

(委員) 活動の中で利益は生み出せているのか。

(事務局) 10万円の活動費から始まり、今は12万円程度。

(委員) このような活動は社会人になる上で非常に大事である。問題解決能力が養われ、リーダーとして活躍できる。非常にいい経験をしていると思う。

(委員) こういった人材を求め、今では採用試験時にグループ討議をする会社が多い。

(委員) 商品開発クラブの活動は、市民フェスティバルで「こかき」の実践販売活動を見せられた。非常に良い活動をしているので、継続していただきたい。

(委員) 研究発表大会へは何校程度出場しているのか。

(事務局) 大阪では20校加盟しており、その内7校が出場。大阪で優勝すれば、近畿大会へ出場となる。近畿大会準優勝以上が全国大会へ出場できる。

(委員) クラブ員の男女構成はどうなっているか。

(事務局) 男子4名、女子13名で活動している。

(委員) 顧問としてのやりがいほどのような点か。

(事務局) 実際の活動を行っていく中で、生徒の姿勢がみるみる変わっていく。いろいろな情報を自ら調査し、持ってくるようになった。生徒の意識変化をたくさん見られることが非常に楽しみである。

(委員) プレゼンテーションのレベルも全国大会に行くとぜんぜん違うと思う。この経験は非常に良い経験だと思う。

(事務局) このクラブは商業科の活動の延長にあるもので、通常の部活動と一線を画している。

※次回は11月末から12月にかけて開催予定。開始時間は18時30分を予定。

19時20分 終了